



令和3年2月9日

各位

会社名 株式会社テーオーシー
代表者名 代表取締役社長 大谷 卓男
(コード番号 8841 東証第一部)
問合せ先 常務取締役事務管理部門担当
石田 雅彦
電話番号 (03)3494-2111

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和3年3月期第3四半期決算において、最近の業績の動向等を踏まえ、令和2年5月12日に公表いたしました令和3年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、年間配当金10円（第2四半期末5円、期末5円）に変更はありません。

記

1. 令和3年3月期通期連結業績予想数値の修正（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,600	6,050	6,350	4,300	44.92 円
今回発表予想 (B)	16,000	5,500	5,900	4,000	41.78 円
増減額 (B-A)	△1,600	△550	△450	△300	—
増減率 (%)	△9.1%	△9.1%	△7.1%	△7.0%	—
(ご参考)前期実績 (令和2年3月期)	18,379	6,227	6,491	4,476	46.42 円

2. 業績予想修正の理由

令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）につきまして、令和2年5月12日の決算短信で公表いたしましたが、その前提として新型コロナウイルスの感染拡大により連結業績予想の見積りが難しいなか、6月まで緊急事態宣言下の状況が続き7月以降回復していくものと想定しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染は7月以降も収まることなく、人々の行動、経済活動に大きな制約をもたらしました。当社グループにおきましては、主力の不動産賃貸事業においてはほぼ予想通り推移しているものの、催事施設の稼働低下、リネンサプライ及びランドリー事業での受注減少、スポーツクラブ事業での会員の減少、さらに、温浴施設事業での入場者の減少等により当初の業績予想を下回って推移しております。また、1月には緊急事態宣言が再発令され、当面、各事業で売上の回復が見込めない状況にあり令和3年3月期の業績予想の修正をするものであります。

(ご注意)

上記の業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以上